

議会から 市民にちは

2020
令和2年
11.1

城山公園のハナミズキです。
市内では少しずつ紅葉が始まり、
秋が訪れています。

令和2年9月定例会

- 令和元年度決算を認定
- 決算審査特別委員会で延べ28人が質疑
- 一般質問に19人が登壇

さの
市議会だより
www.city.sano.lg.jp/gikai/

佐野市議会

検索



▼佐野市議会の様子をライブ中継と
録画により映像配信しています。
佐野市議会スマートフォン中継

検索



令和元年度

一般会計、各特別会計、 水道事業会計決算を認定

決算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンでご覧になれます!)



副委員長
横田 誠



委員長
鈴木 靖宏

佐野市議会 議会中継
(令和2年)

「令和2年第5回(9月)定例会・
常任委員会・決算審査特別委員会」
からご覧ください。



9月定例会には、令和元年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計決算の認定についての各議案が提出されました。

議会では、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月17日、18日、23日の3日間にわたり審査を行いました。

委員会では一般会計18名、各特別会計等10名の委員が質疑を行い、市に対する決算審査要望書を取りまとめ、全9件の決算議案を認定しました。(議決の結果はP4のとおり)

令和元年度 決算の概要

●一般会計及び特別会計

(1万円未満四捨五入)

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一 般 会 計	608億2,439万円	540億7,443万円	498億4,229万円	42億3,214万円
国民健康保険事業(事業勘定)	129億5,587万円	125億5,040万円	122億4,843万円	3億197万円
国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	2億8,122万円	2億5,064万円	2億5,064万円	0円
特 別 会 計				
公 共 下 水 道 事 業	37億9,826万円	36億2,946万円	34億120万円	2億2,826万円
農 業 集 落 排 水 事 業	1億8,367万円	1億7,890万円	1億3,716万円	4,174万円
自家用有償バス事業	1億7,218万円	1億6,564万円	1億6,564万円	0円
介護保険事業(保険事業勘定)	114億54万円	112億183万円	110億8,768万円	1億1,415万円
後 期 高 齢 者 医 療	13億7,885万円	13億6,314万円	13億6,135万円	179万円
小 計	301億7,059万円	293億4,001万円	286億5,210万円	6億8,791万円
合 計	909億9,498万円	834億1,444万円	784億9,439万円	49億2,005万円

(注) 各会計ごとに1万円未満を端数処理しているため、歳入歳出差引残額、小計及び合計欄については実際の数値と異なることがあります。

●水道事業会計

(1万円未満四捨五入)

	予算額	決算額
収 益 的 収 入	23億8,863万円	23億5,843万円
収 益 的 支 出	22億4,267万円	20億9,590万円
資 本 的 収 入	5億370万円	4億8,819万円
資 本 的 支 出	14億3,500万円	13億194万円



感染予防対策を施しながら審査しました。

令和元年度決算審査要望書

(確実な新型コロナウイルス感染症対策)

- 1 令和元年度末から急速に日本でも拡大した新型コロナウイルス感染症の流行は、いまだ終息の見通しが立っていない。

本市においても感染予防及び感染拡大の防止をすることはもちろんのこと、経済へのダメージを最小限に食い止められるよう、確実な科学的根拠を基に適切な施策を講じるよう努められたい。

また、新型コロナウイルス感染症の陽性者や医療・介護・教育・保育従事者等への差別や偏見をなくすための啓発に積極的に取り組まれたい。

(防災・減災の推進)

- 2 令和元年東日本台風の被災による復旧・復興の事業は、道半ばである。今後も関係各所と連携を密にし、農業・産業・公共インフラに係る復旧・復興事業を計画通り進められたい。

また、今回の経験を踏まえ、今後は被災者に対する生活再建等の支援を迅速に行える体制整備に取り組まれたい。

(災害の影響下における相談体制の充実と新型コロナウイルス感染に対応する医療・検査体制の充実)

- 3 令和元年東日本台風による被災と新型コロナウイルス感染に立て続けに見舞われた本市で、多くの市民が先の見えない不安や、かつてないストレスを抱えていることに鑑み、市民相談や家庭児童相談の役割を十分に果たすための体制の充実に努められたい。

また、新型コロナウイルス感染による健康被害を最も受けやすい高齢者や妊婦などを命の危険から守るためのワクチンの優先接種や費用の助成、専用の病床数・看護師の確保など医療体制の整備、感染者の早期発見のための検査体制の充実などに努められたい。

(児童・生徒の教育環境の充実)

- 4 今年、あそ野学園義務教育学校が開校し、義務教育学校元年となった。小中一貫教育では英語教育の推進をはじめ、GIGAスクール構想推進の中、ICT教育等の拡充が行われている。それぞれ、教育内容の充実を図るため、教職員の資質、指導力向上に努められたい。

ハード面では、義務教育学校建設に向け、新築・改築計画が出されるとともに、老朽化している校舎の長寿命化計画が出されている。同時に進めなくてはならない計画であり、スケジュール管理、資金計画管理に努められたい。

また、近年の自然災害や、義務教育学校化での通学区域拡大等の影響から、児童・生徒の登下校時の安全管理を徹底されたい。

(空き家対策の推進)

- 5 コロナ禍が地方移住への意識を変え、田舎暮らしが脚光を浴びてきている。そうした中、本市においては、「佐野市空き家等対策計画」に基づき、定住促進による人口減少の克服を目指しており、Withコロナ時代の流れに即した取組といえる。

そこで、本市への移住・定住(UIJターン)や田舎暮らしに資する有効な資源として、空き家の売却や貸出しをするなど積極的な取組に努められたい。

(産業団地の開発)

- 6 少子高齢化が進む中でも、定住促進を図る上で産業の活性化は重要であり、生産年齢人口を獲得するための働く場の創出が不可欠である。そのような中、これまで開発準備を進めてきた出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業を、当初の予定通り計画的に、かつ適正な土地利用とともに進める必要がある。

そこで、交通の要衝としての本市の優れた特性を活かし、周辺環境との調和に配慮した上で、地域住民の理解を得ながら、当該事業に遅滞なきよう積極的な開発に努められたい。

決算審査特別委員会に付託された議案と結果

議案番号	件 名	議決結果	
議案第105号	令和元年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第106号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第107号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第108号	令和元年度佐野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第109号	令和元年度佐野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第110号	令和元年度佐野市自家用有償バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成全員
議案第111号	令和元年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第112号	令和元年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	賛成多数
議案第113号	令和元年度佐野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	賛成全員

賛否が分かれた議案

議案番号	件名	賛成	反対	議員名 [議席番号順]																							
				1 慶野常夫	2 川嶋嘉一	3 菅原達	4 木村久雄	5 横井帝之	6 早川貴光	7 小倉健一	8 金子保利	9 亀山春夫	10 小暮博志	11 本郷淳一	12 若田部治彦	13 横田誠	14 田所良夫	15 久保貴洋	16 鈴木靖宏	17 岡村恵子	18 鶴見義明	19 井川克彦	20 山菅直己	21 篠原一世	22 春山敏明	23 飯田昌弘	24 高橋功
議案第105号	令和元年度佐野市一般会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	
議案第106号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	
議案第111号	令和元年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	
議案第112号	令和元年度佐野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	議長	○	○	

※○=賛成、×=反対

※春山敏明議長は採決に加わりません。

決算審査特別委員会質疑者一覧

○ 一 般 会 計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	金 子 保 利	10	亀 山 春 夫
2	久 保 貴 洋	11	慶 野 常 夫
3	田 所 良 夫	12	鶴 見 義 明
4	横 井 帝 之	13	木 村 久 雄
5	岡 村 恵 子	14	川 嶋 嘉 一
6	若田部 治 彦	15	菅 原 達
7	早 川 貴 光	16	本 郷 淳 一
8	高 橋 功	17	山 菅 直 己
9	飯 田 昌 弘	18	小 倉 健 一



○ 特別会計、水道事業会計			
発言順序	氏 名	発言順序	氏 名
1	木 村 久 雄	6	鶴 見 義 明
2	金 子 保 利	7	菅 原 達
3	久 保 貴 洋	8	岡 村 恵 子
4	若田部 治 彦	9	本 郷 淳 一
5	田 所 良 夫	10	飯 田 昌 弘



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

生活排水処理構想と
合併処理浄化槽設置促進策
について

Q 合併処理浄化槽整備の拡大に関する
請願が採択された後、合併浄化槽設
置促進策についてどのように取り組んで
いるか伺いたい。

A 市民生活部長

浄化槽法に基づく定期的な点検、清
掃、法定検査の受検等について、浄化槽
の管理者に責任を持って実施していただ
けるよう、「広報さの」等を通じ啓発を行
っています。浄化槽法の一部を改正する
法律が令和2年4月1日より施行され、
市町村は自然的、経済的、社会的諸条件
の適正な処理を特に促進する必要がある
と認める区域を、浄化
槽処理促進区域として
指定することができる
等の規定が創設されま
した。今後は、関係部
署と連携し、浄化槽処
理促進区域の指定等
に向けた調査研究を行
いたいと考えています。



横井 帝之 議員(新風)

義務教育学校について

Q 佐野市立小中学校適正規模・適正配
置基本計画後期計画において、「学校
教育制度の改正で、義務教育9年間を一体
的に捉えた4・3・2制の導入などが可能
となり」とある。4・3・2制は教育の指
導上の区切りとされているが、現在どのよ
うに検討されているか伺いたい。

A 教育長

4・3・2制は、9年間の系統性を確
保した教育課程の編成や教科の専門性を生
かした教員配置など、教員の指導の工夫を
可能にする一つの方法と捉えています。ま
た、4・3・2制という指導上の区切りは
ありますが、学年を超えた学習内容の先取
りや入替えを行うものではなく、市内の小
中学校同様、県立または私立中学校及び中
等教育学校への進学や年度途中の転入学に
際し、子供たちに不利益が生じるというこ
とはありません。

その他の質問

☆熱中症対策について



田所 良夫 議員(新風)

新型コロナウイルス感染症
拡大の影響について

Q プレミアム率50%の佐野市飲食店応
援プレミアム付食事券2020が発
行されたが、プレミアム付きの次なる支
援策について見解を伺いたい。

A 産業文化部長

次なる支援策として飲食業に限定す
ることなく、売上げ減少に悩む市内の小
売業等の支援と、消費者としての市民の
家計を支援するため、今議会において補
正予算の承認をいただき、プレミアム付
商品券の発行を事業化し、市内での幅広
い消費活動を喚起させることで、地域経
済の維持、回復を図りたいと考えていま
す。また、この商品券の発行にあたっては、
既に発行済みの食事券と併用した利用を
可能にすること、
市内でのより一層の
消費拡大が期待でき
ると思っています。

その他の質問

☆令和元年東日本台風
による旗川河川の復
旧について



菅原 達 議員(公明党議員会)

流域治水の推進について

Q

越水による洪水被害を未然に防止するための森林の保水機能の保全や調整池等の設置、田んぼダムを活用、さらに土地利用の規制や移転の促進、避難体制の強化など、関わる行政の窓口が多岐にわたる中で流域治水を推進するためには、庁内を横断した組織づくりを始め、河川管理者との連携強化、治水の専門家や流域の住民などの意見を聞く場を設けることを目的とした、(仮称)流域治水協議会を河川ごとに設置すべきと考えるがいかがか。

A

都市建設部長

流域全体で持続可能な治水対策を講ずることは重要であると

考えており、今後流域の関係者が協働し、主体的な治水対策を総力戦で取り組む社会が構築できるように、国や県と連携を図りながら流域治水について研究したいと考えています。



金子 保利 議員

特別定額給付金について

Q

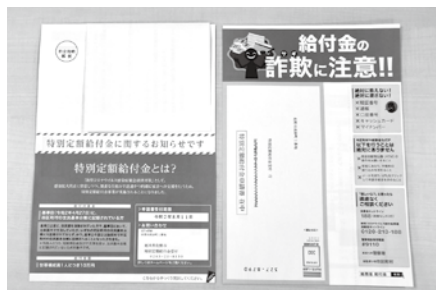
民間調査会社の報告では、特別定額給付金の30%程度が消費され、60%以上が預貯金に回されているとのことである。貯蓄を消費に導く施策を積極的に講じていただきたいと思うが、案があれば伺いたい。

A

産業文化部長

市民の消費を促す取り組みとしては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を特に大きく受けている飲食業の支援を兼ねたプレミアム付食事券を発行し、既に7月末から登録店舗での使用を開始しています。

さらに、今後は飲食業に限定することなく、売上げ減少に悩む市内の小売業等の支援と、消費者としての市民の家計を支援するため、プレミアム付きの商品券を発行し、市内での幅広い消費活動を喚起させることで、地域経済の維持、回復を図りたいと考えています。



▲ 5月に発送された特別定額給付金の申請書



小倉 健一 議員

出流原PA周辺総合物流開発構想について

Q

出流原PA周辺総合物流開発整備に関する基本構想書で、Fゾーンは防災ゾーンとして想定されている。ゾーン区分に限らず本市が懸案すべき土地利用と思うが、Bゾーン以降の構想についてどのように考えるか。

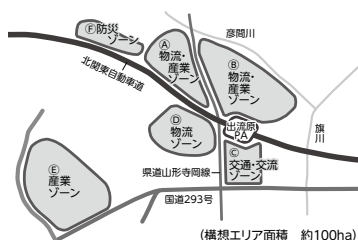
A

市長

本市では、昨年の教訓なども踏まえ、佐野市国土強靱化地域計画を策定しました。計画では、出流原パーキングエリア周辺における総合物流拠点整備を活用し、県や周辺自治体、また民間事業者との連携強化により、国及び県全体の強靱化を図ることについても言及しています。防災への対応については、市民の安全安心な生活を確保する上で大変重要な事項ですので、今後市の防災拠点としての整備を、Fゾーンも含め市全体で検討したいと考えています。

その他の質問

- ☆第2次佐野市保育所整備運営計画について
- ☆新型コロナウイルス対策下における児童生徒の熱中症対策について



▲ 構想エリア図及びゾーニング図



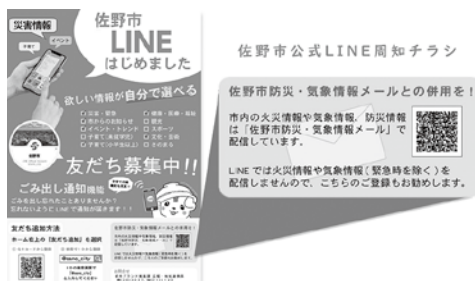
早川 貴光 議員

佐野市公式LINEの運用について

Q 市では、市の公式ラインと市の防災・気象情報メールとの併用を勧められている。公式ラインでは、緊急時を除き火災情報や気象情報を配信しないとしているが、市民から、昨年の台風のような災害のケースは、どの程度公式ラインで情報発信がされるのかという声をいただいた。緊急時の公式ラインでの情報発信の具体的なケースを伺いたい。

A 総合政策部長

市公式ラインでの緊急情報の発信については、佐野市地域防災計画に定められた市の活動体制に応じた対応を行います。例えば、台風等災害の状況に応じた災害警戒本部の設置を起点に、市公式ラインによる災害等の緊急情報発信を行っています。という考えです。

▲ 市の防災・気象情報メールとの併用を勧める
佐野市公式LINE周知チラシ

亀山 春夫 議員(政友みらい)

室の沢橋について

Q 現在、室の沢橋の橋脚は11基ほどあり、約7メートル間隔にある。これまで地元住民からも流水対策を心配する声が上がっている。橋脚は危険性を考慮すると、2基程度に改修すべきと考えるが、どのように考えるか伺いたい。

A 都市建設部長

室の沢橋は橋脚の数が多く、それぞれの間隔が狭いため、洪水時に流木などの漂流物が堆積してダム化するなど、災害を引き起こす原因になることもあります。しかしながら、橋脚の間隔を広くするためには、橋の架け替えが必要となり、その場合多くの費用と時間を要しますので、市全体の橋りょうの維持管理の在り方を総合的に判断した上で対応します。

その他の質問
☆佐野市船越町曲屋沢砂防ダムについて

▶ 室の沢橋



高橋 功 議員(蒼生会)

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ等の同時流行への対応として、インフルエンザ予防接種費用の助成を行う予定であるが、具体的な内容を伺いたい。

A 健康医療部長

例年65歳以上の方を対象に定期インフルエンザ予防接種を行っており、1,000円の自己負担をしていただいています。今年度は、さらに生後6か月から中学3年生相当の方、妊娠されている方に対して、任意インフルエンザ予防接種として費用を助成します。助成内容は、インフルエンザ予防接種1回につき2,000円を市が助成するもので、13歳未満の方へ2回、13歳以上の方へ1回助成します。対象人数は、生後6か月から中学3年生相当の方が約1万3,400人、妊娠されている方が約700人で、助成総額を2,920万円と見込みました。

その他の質問

☆令和元年東日本台風による小曾戸川の溢水の原因と対応について



慶野 常夫 議員(政友みらい)

投票率向上のための取組について

Q 投票所は、役所などの行政施設がほとんどだが、県内においても、気軽に立ち寄れるショッピングセンターなどの大型商業施設での期日前投票所が少しずつ増えてきている。集客力のある大型商業施設の期日前投票所は、投票しやすい環境の一つであり、わざわざ投票に行くのではなく買物ついでに投票でき、また、政治離れが指摘される若い世代に対しても投票率の向上が期待できるものと考えます。大型商業施設への期日前投票所の設置に対する本市の考えを伺いたい。

A 選挙管理委員会書記長

本市としても、投票環境を整え選挙人の利便性を高めることは重要なことと考えています。選挙の執行体制を考える中において、大型商業施設等への期日前投票所設置について研究したいと考えています。

その他の質問

☆佐野市地域公共交通について



横田 誠 議員(新風)

新型コロナウイルス感染症による財政への影響について

Q 対コロナ財源確保のため、市税の減収を見込んだ上で事業の中止など歳出抑制をするだけでは、市民サービスが低下する一方だと思うが、収入確保策についてどのような考えがあるか。

A 総合政策部長

令和2年度は、地方税の徴収猶予の特例制度が設けられ、徴収猶予に伴う一時的な市税の減収の相当額について地方債である徴収猶予特例債が創設されたので、減収補填債と合わせて借入れを検討したいと考えています。令和3年度以降は、市税や各交付金の減収が普通交付税の算定における基準財政収入額に影響するので、普通交付税など地方の一般財源の確保について、県市長会などを通じて国に働きかけたいと考えています。今後、ふるさと納税制度や広告収入の取組を強化するなど様々な手段を講じ、財源の確保を図りたいと考えています。

その他の質問

☆佐野クリケットチャレンジについて



久保 貴洋 議員(蒼生会)

「人間国宝 田村耕一美術館」について

Q 人間国宝田村耕一美術館に関する基本的認識と連携、活用について伺いたい。

A 市長

人間国宝田村耕一美術館に収蔵されている作品は、田村先生の初期から晩年に及び、その多彩な技法を全て網羅し、それぞれの作品が作陶時期を代表する名品ばかりです。当美術館は、民間施設ですが、佐野市の宝であると言っても過言ではありません。幸いにも、館長から全面的な協力をいただけるというお話もありますので、市の田村耕一陶芸館との連携はもとより、例えば田村先生の母校である東京藝術大学との連携、あるいは児童生徒の情操教育への活用など、観光面や地域振興に加え、幅広い視点から連携、活用させていただき、将来にわたり大きな文化の花を咲かせたいと考えています。

その他の質問

☆あそ野学園義務教育学校及び葛生義務教育学校の開校に伴う学校跡地の個別活用方針について



▲ 人間国宝田村耕一美術館の看板



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

新型コロナウイルス感染症
対策と各種支援策について

Q 県の補正予算により、7月から1か所目の地域外来・検査センターが設置され、さらに本市において2か所目が設置される運びになっているが、1か所目と2か所目とではどのような違いがあるか。また、検査の拡充に結びつけることができるのか伺いたい。

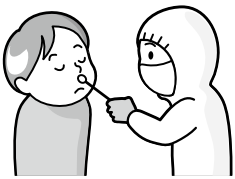
A 健康医療部長

現在、1日5件程度の検査件数で対応していますが、新たなセンターでは15件程度処理でき、市内において20件を超える検査が可能となり、場所についても、1か所目と2か所目は距離的に離れているので、市民にとって行きやすい場所にと考えています。

また、2か所目は、車で行くことを前提にしていますが、車から出て検査する体制で、徒歩で来る方にも対応でき、1か所目よりもすぐれた形で検査が拡充されると考えています。

その他の質問

☆令和元年東日本台風被害時の対応の総括と改善について



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

国道50号沿線の開発構想
について

Q 国道50号沿線の開発は、迅速かつ確実に実現しなければならぬと考え、今後の進め方について伺いたい。

A 市長

国道50号沿線の開発は、雇用の創出、定住の促進、財政基盤の強化など、多くの効果を本市にもたらすものです。加えて、渡良瀬川への新たな架橋を含む南部幹線や南部道路を整備することにより、本市の活性化はもとより、本市を含めた県南地域の発展、ひいては県境を越えた広域的な発展に寄与するものです。

事業化に際しては、現在進めている候補地の調査の結果などを踏まえ、来年度予算に基本的な計画策定のための予算を計上させていただき、事業の推進を図りたいと考えています。

その他の質問

☆令和元年東日本台風の復旧・復興について



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

安全安心の学校教育について

Q 児童生徒の災害対策について、東海地震を想定した防災教育に取り組む静岡市内の中学校では、東日本大震災前の2008年からスクールパックの名で、生徒それぞれが飲み物などを小箱や持ち出しやすいリュックに収め、学校で夜を明かすような事態に備えてきた。阪神・淡路大震災から26年がたった今、防災、減災意識を高めるために各学校にスクールパックを紹介し、取り入れる努力をお願いしたいと思うが、どのように考えるか伺いたい。

A 教育長

災害発生時の備蓄品として水や非常食を用意することは、その費用負担の課題はありますが、防災教育の改善充実を図り、防災、減災意識を高めるために有効な手段です。

今後、校長会議等の機会を利用し、紹介したいと考えています。

その他の質問

☆都市機能の充実したまちづくりについて





木村 久雄 議員(公明党議員会)

災害備蓄品について

Q 災害協定を締結していても、有事の急な対応は難しいものと考ええる。その点を考えて、今後については少量であっても液体ミルクを備蓄するべきと考えるが、見解を伺いたい。

行政経営部長

A 災害協定において調達を考えているところですが、議員おっしゃるとおり、依頼をしてからの調達ということになるので、入手までにある程度の時間が必要となります。その間の対応を踏まえると、ある程度の備蓄は必要であると考えています。災害協定で調達できるまでの間の分を、今後備蓄する方向で検討したいと考えています。

その他の質問

☆感染症対策について



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

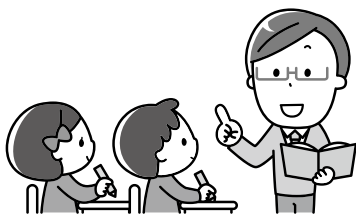
コロナ禍における教育行政について

Q 全国一律の休校要請で長期休校となったが、学校再開後の授業について、子供たちの授業の遅れが非常に気にかかる。現在の授業の補足状況について伺いたい。

教育長

A 授業時数の不足を補うために、各学校では1日当たりの授業時間数を7時間にしたり、朝の活動の時間を活用したりして授業時間の時間数の増加を図っています。おおむね11月から12月には、この不足分を補うことができる見通しとなっています。

学習についていけないような子供たちに対しては、さわやか教育指導員等の活用をより積極的に進めて、子供たち一人ひとりに寄り添うきめ細やかな支援をこれまで以上に図っていききたいと考えています。



川嶋 嘉一 議員(政友みらい)

第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進について

Q 第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標3、「結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、女性が輝く地域社会をつくる」の中で、重要業績評価指数として、女性の事業主を令和6年度には270人にすると掲げているが、その方策について伺いたい。

産業文化部長

A 本市は、若い女性の転出が顕著であることから、女性活躍に焦点を絞り、女性事業主をその重要業績評価指標としたところだ。

目標達成に向けては、女性が起業するために必要な専門知識の習得、先輩女性経営者との交流や意見交換ができる機会を提供することなどにより、起業しやすい環境の整備や、家事や子育てなどの両立に対する不安感の払拭を図っていききたいと考えています。

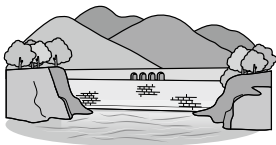
その他の質問

☆本市の今後の教育行政について



☆財政状況について
☆ごみ屋敷・放置され
ているごみについて

その他の質問



葛生地内の小曾戸川について、溢水・越水の対策として川底のしゅんせつ、掘削、堤防、土手のかさ上げなどが考えられるが、根本的な解決とは思えない。貯水池や放水路も考えなければならぬと思うが、地域の雨水が分散されるように県に要望できないか伺いたい。

A 都市建設部長
小曾戸川への流入を減らす対策を講じることは、市としても葛生地内の治水対策として必要であると考えています。したがって、新設される県道への流量の分散を含め、調整池の設置や周辺農地の活用などを総合的に考え、必要に応じて栃木県に要望したいと考えています。

なお、栃木県安足土木事務所に確認したところ、浸水対策の検討を目的とした業務委託を8月に発注したことが確認できました。



山菅 直己 議員(政友みらい)

令和元年東日本台風被害の復旧について

令和2年第5回定例会(9月定例会) 審議された議案等と結果

第5回定例会(9月定例会)は、9月4日(金)から9月28日(月)の25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。令和元年度決算に係る議案は、4ページをご覧ください。

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
報告第12号	公益財団法人佐野市民文化振興事業団の経営状況を説明する書類の提出について【令和2年度の事業計画及び予算並びに令和元年度の決算】	報 告	—
報告第13号	公益財団法人佐野市農業公社の経営状況を説明する書類の提出について【令和2年度の事業計画及び予算並びに令和元年度の決算】	報 告	—
報告第14号	株式会社どまんなかたぬまの経営状況を説明する書類の提出について【令和2年度の事業計画及び予算並びに令和元年度の決算】	報 告	—
報告第15号	令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率について【令和元年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告】	報 告	—
報告第16号	市長の専決処分事項の報告について【令和2年6月11日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報 告	—
議案第95号	市長の専決処分事項の承認について【令和2年度佐野市一般会計補正予算(第7号)歳入歳出予算の総額にそれぞれ60,000千円を追加、地方債の補正】	承 認	賛成全員
議案第96号	佐野市防災会議条例の改正について【佐野市防災会議に新たに委員を加え、及び所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第97号	葛生義務教育学校校舎改修建築工事請負契約について【葛生義務教育学校校舎改修建築工事の執行】	原案可決	賛成全員
議案第98号	葛生義務教育学校校舎改修電気設備工事請負契約について【葛生義務教育学校校舎改修電気設備工事の執行】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件 名【内 容】	議決結果等	
議案第 99 号	葛生義務教育学校校舎改修機械設備工事請負契約について【葛生義務教育学校校舎改修機械設備工事の執行】	原案可決	賛成全員
議案第100号	葛生義務教育学校プール改築建築工事請負契約について【葛生義務教育学校プール改築建築工事の執行】	原案可決	賛成全員
議案第101号	小学校内通信ネットワーク及び充電保管庫整備に伴う充電保管庫等の取得について【小学校内における通信ネットワーク及び充電保管庫の整備に伴う充電保管庫等の取得】	原案可決	賛成全員
議案第102号	中学校内通信ネットワーク及び充電保管庫整備に伴う充電保管庫等の取得について【中学校及び義務教育学校内における通信ネットワーク及び充電保管庫の整備に伴う充電保管庫等の取得】	原案可決	賛成全員
議案第103号	救急自動車(高規格型)の取得について【救急自動車(高規格型)の取得】	原案可決	賛成全員
議案第104号	高機能消防指令システム改修に伴うサーバー設備等の取得について【高機能消防指令システムの改修に伴うサーバー設備等の取得】	原案可決	賛成全員
議案第114号	令和2年度佐野市一般会計補正予算(第8号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,103,928千円を追加、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第115号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ223,617千円を追加、債務負担行為の補正】	原案可決	賛成全員
議案第116号	令和2年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ8,575千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第117号	令和2年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ130,867千円を追加、債務負担行為】	原案可決	賛成全員
議案第118号	令和2年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,793千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第119号	令和2年度佐野市下水道事業会計補正予算(第1号) 【特例的収入である未収金の金額を161,672千円、特例的支出である未払金の金額を172,519千円に変更】	原案可決	賛成全員
議案第120号	令和2年度佐野市一般会計補正予算(第9号) 【歳入歳出予算の総額にそれぞれ19,000千円を追加】	原案可決	賛成全員
陳情第 2 号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情(13ページに記載)	不採択	賛成少数
陳情第 3 号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書を提出することを求める陳情(13ページに記載)	不採択	賛成少数
意見書案第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について(14、15ページに記載)	原案可決	賛成全員

賛否が分かれた議案等

議案番号等	件名	賛成	反対	議員名 [議席番号順]																							
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
				慶野常夫	川嶋嘉一	菅原達雄	木村久雄	横井帝之	早川貴光	小倉健一	金子保利	亀山春夫	小暮博志	本郷淳一	若田部治彦	横田誠	田所良夫	久保貴洋	鈴木靖宏	岡村恵子	鶴見義明	井川克彦	山菅直己	篠原一世	春山敏明	飯田昌弘	高橋功
陳情第2号	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情	5	18	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	議長	×	×
陳情第3号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書を提出することを求める陳情	5	18	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	議長	×	×

※○＝賛成、×＝反対

※春山敏明議長は採決に加わりません。

陳情の審査結果

陳情第2号

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める陳情

▼陳情人

個人情報保護のため非公開

▼陳情の要旨

次の趣旨に沿って、国に対する意見書を採択してください。

- (1) 子どもたちのいのちと健康を守り、成長と発達を保障するため、緊急に20人程度で授業ができるようにすること。そのために教職員増と教室確保を国の責任で行うこと。
- (2) 「20人学級」を展望し、少人数学級を実現すること。そのために国は、標準法を改正し教職員定数改善計画を立てること。

▼審議結果

第5回定例会(9月定例会)において経済文教常任委員会に付託され、賛成少数で不採択となりました。同定例会本会議において、賛成少数で不採択となりました。



▲ 全文は、こちらからご覧になれます。

陳情第3号

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書を提出することを求める陳情

▼陳情人

個人情報保護のため非公開

▼陳情の要旨

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書を採択し、地方自治法第99条の規定により国に提出してください。

▼審議結果

第5回定例会(9月定例会)において総務常任委員会に付託され、賛成少数で不採択となりました。同定例会本会議において、賛成少数で不採択となりました。



▲ 全文(意見書を含む)は、こちらからご覧になれます。

意見書案の審議結果

意見書案第2号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について

第5回定例会(9月定例会)において、(提出者)飯田昌弘議員、(賛成者)篠原一世議員、若田部治彦議員、田所良夫議員、鶴見義明議員から新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案が提出され、常任委員会への付託を省略し、賛成全員で可決されました。意見書は、佐野市議会として衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣に次のとおり提出しました。



▲ 全文は、こちらからご覧になれます。

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、我が国は、戦後最大の経済危機に直面しています。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避け難くなっています。

地方自治体では、医療・介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応を始め、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されます。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望します。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5 とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来、国庫補助金などにより対応すべきものです。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和2年9月29日
佐野市議会



令和2年 12月定例会日程(案)



新型コロナウイルスの感染状況により、日程を変更する場合があります。令和2年12月定例会の日程は、11月27日(金)の議会運営委員会で内定します。

11/23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)	29日(日)
		請願、陳情 提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
30日(月)	12/1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)
				10:00 本会議 (開会、議案説明)	休会	休会
7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)
休会	10:00 本会議 (議案質疑)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	10:00 本会議 (一般質問)	休会	休会
14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	19日(土)	20日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	本会議 (委員長報告、質疑、 討論、表決、閉会)		

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会は、付託された議案等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

を開催しました

7月11日(土) 午後1時30分

会場：佐野高校

概要

佐野市議会の議員12名が、SGH活動でまちづくり研究を行っている佐野高校の生徒を訪問しました。まず、議会の仕組みを説明させていただいた後、生徒から、4つのテーマについて政策提言を受け、意見交換を行いました。内容の一部をご紹介します。

※班ごとに会場を分けるなど、感染予防に努めて実施しました。



(議会の仕組みを説明)

クリケット×多文化共生～佐野から始まるクリケット革命～

クリケット班

背景 佐野市はクリケット振興に熱心に取り組んでおり、多くの外国人が市を訪れているが、市民、特に中高生は関心が低く、国際交流の機会を逃している。

仮説 クリケットを使った国際交流の機会を提供すれば、市民のクリケットへの関心を高めるだけでなく、外国人の方の地域とのつながりも深まり、多文化共生につながるのではないかと。

研究 高校内で国際交流会やクリケット体験会を実施し、親睦の場や、直接クリケットに触れる機会を提供した。

考察 市民と外国人の橋渡し役を中高生が担うことができる。一部の関係者のみで推進するのではなく、教育委員会や地域機関と連携し、市民全体で持続可能な貢献を目指していく。

議員の所感 誰かにその解決を委ねるのではなく、自分たちがその中核的な役割を果たすとの主体性に、地域に対する熱く真剣な思いと、未来への責任感が強く感じられました。



レストランメニューの多言語化

多言語メニュー班

背景 外国人観光客が旅行中、困ったこととして「多言語表示の少なさ」「コミュニケーションがとれない」等が多いことから、どうすれば外国人観光客の感じる「言語の壁」をなくせるかを考えた。

仮説 レストランメニューを多言語対応させれば、佐野市が外国人観光客にとって心地良い場所になるのではないかと。

研究 外国人がどれほど困っているかをわかっていないため、英語メニューを扱うお店が少ない。実際に英語メニューを作成したところ、肯定的な評価であり、有用であることがわかった。

考察 お店側も新たな顧客を獲得することができ、双方にメリットがある。適切な支援策を講じて多文化対応メニューを導入すれば、言語の壁をなくすことができる。

議員の所感 飲食店関係の市民の皆様や関係者との交流を通じて、シビックプライド(市に対する市民の誇り)の観点から市の発展に興味を抱いており、今後の将来性が垣間見えました。



訪問型議会報告会

佐野高校は国際的に活躍できる人材の育成を目指す文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール」(SGH)に指定されています。同校に60以上あるSGH活動班のうち4つの班に参加していただきました。



外来魚大進化計画 ～let's make 魚粉～

魚粉班

背景 全国的に外来魚が増加し、駆除活動が盛んに行われているが、捕獲した外来魚はほとんどが廃棄されている。人間と外来魚のより良い共存の在り方に着目し、駆除された外来魚を有効的に活用できないだろうか。

仮説 外来魚を手軽に扱いやすい魚粉に加工すれば、作物を育てる肥料として有効活用できるのではないかな。

研究・実験 一般的な化学肥料と2種類の魚粉肥料を用いて小松菜を育て、育ち具合や収穫時の状態を観察した。

展望 実験で得た結果をもとに、今後も新たな作物(果菜・根菜)を生育する。外来魚魚粉の特徴や利便性を地域に広めたい。

議員の所感 新たな発想で魚粉に加工し、地域・企業・漁協等の関連団体との連携で新たな事業化も図れ、6次産業化も夢ではありません。今後の更なる研究を期待します。



キャンプ場を利用したまちおこし計画

キャンプ班

背景 佐野市の北部は観光資源が少なく、人を継続して呼び込めていない。豊かな自然や広大な土地を生かし、活性化することはできないか。

仮説 五感を刺激され、非日常を体験できるキャンプに着目し、豊富な自然を生かしたキャンプ場をPRすれば、人を呼び込めることができるのではないかな。

現状分析 10代20代の若者の利用が少なく、冬キャンプが人気があるのに冬季休業があることがわかった。

解決・考察 イベントの企画や、天明鑄物のキャンプ用品(スキレット、鉄板)としての活用、SNSでのキャンプ場のPRなどを行うことで、北部への観光客を呼び込める。多くの世代の人に市回遊型の観光を楽しんでもらい、市全体の活性化や持続可能なまちづくりにつなげることができる。

議員の所感 観光立市を掲げている本市として、大変参考になる研究テーマでした。キャンプ用品として天明鑄物の活用を結び付けた発想力も素晴らしく、更なる研究の取組、発展を期待します。



佐野市議会基本条例(案)に関する

パブリック・コメント

意見
公募

を実施

佐野市議会では、議会及び議員の活動原則などを定めるため、佐野市議会基本条例(案)を取りまとめました。

パブリック・コメント(意見公募)を実施し、皆さんのご意見を募集します。



▼募集期間 11月2日(月)～12月2日(水)(必着)

▼閲覧時間 午前8時30分～午後5時15分(土曜日・日曜日、祝日は除く)

▼閲覧場所 議事課(7階)、市政情報コーナー(2階)、田沼・葛生行政センター

▼提出方法 閲覧場所に備え付けの意見記入用紙に必要事項を記入の上、

議事課へ直接、郵送、ファックスまたは電子メールでご提出ください。

※意見記入用紙は市及び市議会のホームページからダウンロードできます

▼意見提出 〒327-8501(住所不要)議事課

FAX (21)4411 メールアドレス gikai@city.sano.lg.jp

議事課 電話(20)3036 ※電話による意見の受け付けはできません

※市及び市議会のホームページでは期間中、常時閲覧できます。

全国市議会議長会から表彰され、 表彰状及び感謝状の伝達式が行われました

全国市議会議長会から在職20年以上により春山敏明議員、岡村恵子議員、在職15年以上により飯田昌弘議員が表彰されました。春山議員には、国と地方の協議の場等に関する特別委員会の委員を務めたことにより感謝状も贈られました。9月定例会の初日に表彰状及び感謝状の伝達式を行いました。



春山 敏明 議員
在職20年以上
国と地方の協議の場等に関する特別委員会 委員



飯田 昌弘 議員
在職15年以上



岡村 恵子 議員
在職20年以上

今後、地震・台風などの災害発生時や感染症の蔓延時においても、議会機能を維持できるよう、議会における業務継続計画を策定し、市民の安心安全に努めてまいります。
(菅原記)

また、新型コロナウイルス感染症対策として質疑の通告や質疑時間の短縮、換気の徹底などに配慮しました。

9月議会の決算審査は、令和元年東日本台風に伴う歳入減と復旧に掛かる歳出増、事業の中止や延期に伴う次年度繰り越し、さらに新型コロナウイルス対応など、例年と大きく異なる審査となりました。



【編集委員会】
委員長 篠原 一世
委員 川嶋 嘉一
委員 菅原 達
委員 久保 貴洋
委員 亀山 春夫